

子宮頸がんワクチン  
厚生省「中止しない」

未報告事例も情報収集

子宮頸がんワクチンの接  
種後に体の痛みや歩行障害  
などの重い副反応が表れた  
女子生徒の家族らが接種の  
中止を求めている問題で、  
厚生労働省の有識者検討会  
は16日、「現時点で中止を  
判断する科学的論拠は乏し  
い」との見解をまとめた。

一方、さらに因果関係を  
調べる必要があるとして、  
医療機関などからの未報告  
事例も含め、情報収集に乗  
り出すことにした。